

鶏肉情勢

平成31年1月7日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
1. 国内	(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会12月下旬実施)によると、11月の推計実績は、処理羽数59,463千羽(前年同月比102.4%)・処理重量177.0千ト(同100.9%)となった。前年同月と比較すると、北・東日本を中心に特に中旬はかなり高い気温(平年差2℃以上のところも)で降水量も少なかったこともあり、前月時点での計画を入雞羽数・処理羽数・処理重量全てにおいて上回る結果となった。
	(2) H30年12月-H31年2月で、12月は前月時点の計画とほぼ同じで、特に北海道・東北地区では羽数ベースで前年を上回るものの重量ベースで前年を下回る見込み。結果、H30年累計推計実績(計画含む)は、入雞羽数(前年比1.5%増)・処理羽数(同2.1%増)・処理重量(同1.3%増)ともに前年を上回る見込みとなった。「生産量が過去最高を更新してきたH24年以降、重量の伸び率が羽数の伸び率を上回ってきたが、今年はその傾向に変化がみられる。増体能力が向上し、出荷日齢が短縮されている可能性がある。」と㈱全国食鳥新聞社がコメントしている。1月は処理重量が前年を若干下回る計画となっているが、1月・2月平均すれば処理羽数・処理重量は前年を若干上回る見通しとなっている。
2. 輸入	(1) 財務省がH30年12月27日公表した貿易統計によるとH30年11月の鶏肉(原料肉)輸入量は43.2千トと、前年比(75.7%)で大きく下回った。国別では、ブラジルが前年比72.8%の30.8千ト、タイも同89.4%の10.6千トと主要2か国での減少が目立った。輸出入協会ではH30年12月47.7千ト(同102.6%)・H31年1月45.2千ト(同93.6%)と予測しており、「ブラジルでは現物が集め難くなっており、ブラジル産相場は、今後の船積み数量に大きな変化がなければ上昇に転じると見込まれ、タイ産についても需要は堅調であり、相場が上昇する要因も現れ始めている。」とコメントしている。また、直近では国内在庫はまだ潤沢にあるものの、ブラジルの外貨高による輸入減を見込み価格が300円弱まで上昇しているとの報告があった。
	(2) 鶏肉調整品のH30年11月輸入量は50.0千ト(前年比107.5%)となり、2か月連続で50千トの大台に乗せた。1昨年も11月(46.5千ト)・12月(48.2千ト)と過去最多を更新したが、昨年はさらにそれを上回る水準が続いた。特に中国からの伸び率(同110.9%)が高くなっている。今年10月には消費税率の引き上げに伴う飲食料品の軽減税率の適用により、外食から中食(惣菜品等)へと消費が移行するという見方もあり、惣菜向けに需要の高い鶏肉調整品の輸入は底堅く推移するものと思われる。
需 要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、10月は比較的暖かく行楽需要も手伝って、全国一世帯当たりの3畜種消費(購入)数量は3,872g(前年比101.4%)と前年は上回ったが金額は安価な輸入豚肉の影響等で5,711円(同97.0%)と下回った。鶏肉についても、むね肉の需要拡大等で数量は1,480g(同102.3%)と前年を上回ったが、金額は相場安・単価安もあり1,371円(同97.7%)と前年を下回った。
	2. 量販・卸 (1) スーパー3団体によると「11月の畜産部門の売上高はパネル270社全店ベースで売上1,049億円で前年比97.9%となった。平年・前年より高い気温に加え、前年野菜の相場安で伸長した薄切り肉等鍋物商材を中心に冬物商材が不振となり、温度変化に敏感な鶏肉や豚肉を中心に不調となった。加えて鶏肉・豚肉は相場が下落傾向にあり、単価下落した影響も受けた。一方焼肉やステーキ用牛肉は好調とする店舗もみられた。」と報告された。ただ、惣菜部門については週末の天候に恵まれ行楽需要により、米飯類、唐揚げの動きがよくやや好調との報告もあり、鶏肉調整品の好調な輸入を伺わせる。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる10月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比104.0%の4.7千ト。うち国内物は同102.9%の3.9千トと前月は前年比を下回ったものの、再び増加基調となった。輸入物も同109.3%の0.83千トと報告された。輸入物は1-10月累計でも同132.6%と大幅に増加しているものの、全体の18.1%となっている。サラダチキン向け等の需要が堅調であるなか輸入物の比率が着実に伸びてきたが、国産むね肉価格が比較的低位で安定しているため、国産むね肉での製造が見直される傾向にある。
在 庫	1. 30年10月 (1) 推計期末在庫は国産28.9千ト(前年比107.8%・前月差+1.1千ト)、輸入品137.8千ト(同95.4%・同+2.8千ト)と合計で166.8千ト(同97.3%・同+4.0千ト)となった。天候等にも恵まれ生産量が16.3千ト増加し、輸入量も14.2千ト増加した。そのため推定出回り量は、国産が14.0千ト増加の139.2千ト、輸入品が6.2千ト増加の51.6千トとなった。
	2. 見通し (1) 11月は国内生産量が前月比で2.3千ト減少、輸入量も約4千ト減少。暖冬で鍋物需要が期待出来ない中、在庫は微増傾向で引き続き高水準で推移すると思われる。 (2) (独)農畜産業振興機構の需給予測では、12月は前月比で生産量が12.1千ト増加し、輸入量もブラジル中心に1.9千ト増加、出回り量も17.0千ト増加することにより、期末在庫は国産・輸入品合計で3.6千ト減少の162.6千ト。1月は生産量が19千ト減少し、輸入量もブラジル中心に2.5千ト減少するも、出回り量も28.1千ト減少することにより、在庫は2.9千ト増加の165.5千ト(前年比92.5%)とされている。年末から冬らしくなってきた鍋物需要等で国産・輸入品問わず鶏肉需要拡大に期待したい。
相 場	1. 12月動向 (1) 12月の平均相場は、もも肉618円/kg(前月比30円上げ)・むね肉279円/kg(同5円上げ)、正肉合計で897円/kgと前月比35円上げも、前年比では65円の下げとなった。もも肉は気温の上げ下げに連動する様に前半乱高下の展開で低調に推移し、後半は気温の低下とともに上昇し最終653円となった。むね肉は、量販店等の特売需要やサラダチキン等の加工向け需要で堅調に推移しており、月初272円・月末279円と保合い圏内となった。
	2. 1月見通し (1) 年末から新年にかけて徐々に冬の気圧配置の強まりによる寒波の襲来が予測され、それに合せた鍋物需要もある程度期待できるため、もも肉は月平均630円、むね肉は引き続き量販店等での動きが良いことや、冷凍での引き合いもでてきたため月平均275円の保合いと予測する。

実績

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	H30年11月推計実績		H30年12月計画		H30年累計(計画含む)		H31年1月計画		H31年2月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雞羽数	60,818	101.1%	64,950	100.0%	741,677	101.5%	64,133	101.9%	58,680	103.1%
処理羽数	59,463	102.4%	64,184	100.3%	696,535	102.1%	57,475	101.2%	55,780	102.5%
処理重量	177.0	100.9%	190.6	98.3%	2,066.0	101.3%	170.1	99.4%	165.6	101.8%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向 単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H30年8月	50.8	52.0	97.6	43.1	43.7	98.5	93.9	95.8	98.0	54.1	45.9
H30年9月	40.3	55.4	72.7	38.2	39.6	96.4	78.4	95.0	82.6	51.3	48.7
H30年10月	54.4	57.8	94.1	50.5	42.4	118.9	104.9	100.3	104.6	51.9	48.1
H30年11月	43.2	57.1	75.7	50.0	46.5	107.5	93.2	103.6	89.9	46.3	53.7
H30年累計	513.3	523.0	98.2	467.6	438.7	106.6	980.9	961.7	102.0	52.3	47.7

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%

相場(年別・暦年) 単位:円

履歴	数量			金額			もも肉	むね肉	計
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
H30年8月	1,285	1,199	107.2	1,163	1,180	98.6			
H30年9月	1,368	1,342	101.9	1,302	1,269	102.6			
H30年10月	1,480	1,447	102.3	1,371	1,403	97.7			
H30年平均	1,364	1,322	103.2	1,287	1,270	101.3			

※参考資料:総務省統計局HP

在庫状況 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年7月	28.5	25.6	111.3	139.5	122.1	114.2	168.0	147.7	113.7
H30年8月	28.9	27.0	107.0	140.1	130.8	107.0	169.0	157.9	107.0
H30年9月	27.8	29.5	94.1	135.0	131.9	102.3	162.8	161.5	100.8
H30年10月	28.9	26.8	107.8	137.8	144.5	95.4	166.8	171.3	97.3

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別) 単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年9月	550	560	98.2	265	324	81.8	815	884	92.2
H30年10月	570	583	97.8	270	322	83.9	840	905	92.8
H30年11月	588	605	97.2	274	319	85.9	862	924	93.3
H30年12月	618	644	96.0	279	318	87.7	897	962	93.2
H31年1月	(630)	673	93.6	(275)	312	88.1	(905)	985	91.9
H31年2月	(625)	663	94.3	(275)	304	90.5	(900)	967	93.1
H30年平均	595	626	95.0	282	315	89.5	877	941	93.2

※()は見通し

※1-12月平均